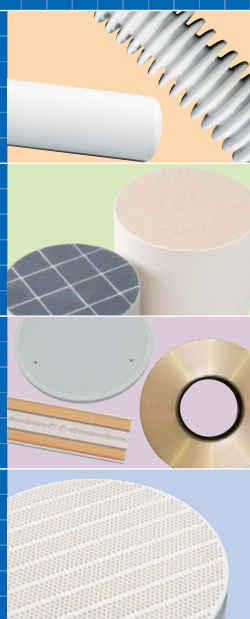


株主の皆様へ

2007年度(第142期)

中間報告書

(2007年4月1日から2007年9月30日まで)



日本ガイシ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの第142期中間期の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移する中、個人消費も底堅く推移し、景気は緩やかに拡大を続けました。

このような状況のもと、当社グループの連結売上高は、セラミックス事業部門でSiC製ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）を始めとするディーゼル関連製品が大幅に増加しました。電力関連事業部門、エレクトロニクス事業部門も前年同期を上回り、エンジニアリング事業部門も概ね前年同期並みとなりました結果、全体で前年同期比21.1%増の1,736億94百万円となりました。

連結利益は、セラミックス事業部門で、売上高の増加や生産性の改善、さらには円安の影響などから、前年同期と比べ大幅な増益となりました。他事業部門もそれぞれ改善しました結果、全体で営業利益は前年同期比58.7%増の349億37百万円、経常利益は同68.3%増の353億15百万円となりました。また当上半期純利益はセラミックセンサ（株）株式の売却に伴う特別利益等により前年同期比115.0%増の257億52百万円となりました。なお、当中間期の利益配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ4円増配し、1株につき11円とさせていただきます。

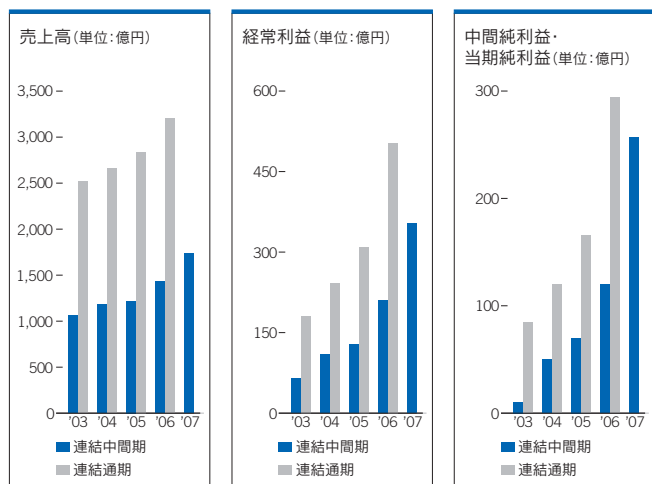
下半期では、米国経済の不透明感が増してきている影響など景気の減速傾向も現れ始めており、エレクトロニクス事業部門では半導体業界の一服を受け半導体製造装置用セラミックスの減収を見込んでおりますが、通期では、上半期の業績にも支えられ、売上高は3,620億円の4期連続の前期比増収、営業利益は670億円、経常利益は670億円のそれぞれ5期連続、当期純利益は445億円の4期連続の前期比二桁増益を目指しております。また資本効率を示す経営指標ROEにつきましても、前期より4.0ポイント改善し14.8%となる見込みです。

当社グループは持続的な成長を目指し、当期の課題として「新製品・新規事業の創出」、「現場力の向上」、「海外展開を支える人材の育成」を掲げております。ディーゼル関連製品に続く新たな収益の柱としてNAS電池事業の早期戦力化に取り組むとともに、新規テーマの探索にも一層注力してまいります。また世界的な排ガス規制強化の流れの中でディーゼル関連製品のさらなる需要増を見込み、今後海外を中心に従来規模を上回る設備投資を実施していく予定です。これらの課題にグループ一丸となって精力的に取り組むことによりまして、連結事業運営に基づく資本効率重視、株主重視の経営を推進し、引き続き企業価値の向上に努めてまいります。株主各位におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年12月

取締役社長 松下 雫

連結財務ハイライト



部門別営業概況

〔電力関連事業部門〕

当事業の連結売上高は、379億43百万円と前年同期に比べて15.3%増加しました。

国内市場では塩雪害対策用のがいしの需要が増加、海外市場も中近東・中国向けがいしの需要が増加したことなどから、前年同期比増収となりました。

連結営業利益は、売上増加等により、前年同期比66.4%増の40億27百万円となりました。



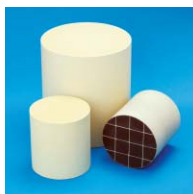
電力貯蔵用NAS®電池

〔セラミックス事業部門〕

当事業の連結売上高は、839億68百万円と前年同期に比べて33.7%増加しました。

ディーゼル排ガス規制の強化からSiC製DPFを始めとするディーゼル関連製品の需要が増加し、前年同期比大幅増収となりました。自動車排ガス浄化用触媒担体も欧州向け出荷が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。燃焼装置は客先の設備投資に支えられPDP用熱処理炉が増加、産業用機器も堅調でそれぞれ前年同期を上回りました。

連結営業利益は、売上増加・生産性の改善に加え円安もあり、前年同期比58.7%増の236億49百万円となりました。



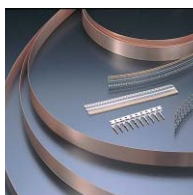
ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)

〔エレクトロニクス事業部門〕

当事業の連結売上高は、414億63百万円と前年同期に比べて9.8%増加しました。

ベリリウム銅製品は、携帯電話・自動車向けの需要がアジア・国内市場を中心に堅調に推移し、前年同期比微増収となりました。半導体製造装置用セラミックス製品も、当中間期までは受注残に支えられ、前年同期を上回りました。カラープリンター用の機能部品は、客先の販売方針の変更による物量の増加等により、前年同期を上回りました。連結子会社の双信電機(株)グループにおきましては、実装製品等の売上減により前年同期比減収となりました。

連結営業利益は、売上増加や生産性向上などにより前年同期比17.3%増の80億72百万円となりました。



ベリリウム銅展伸材

〔エンジニアリング事業部門〕

当事業の連結売上高は、118億2百万円と前年同期に比べて12.3%増加しました。

主力の環境装置は、売上高は下期出荷の集中度合いが例年よりも低く、当中間期は前年同期を上回りました。低レベル放射性廃棄物処理関連も、前年同期比微増となりました。

連結営業利益は、前年同期比で13億35百万円損失が縮小し、8億77百万円の損失となりました。当事業は官公庁向け出荷が大半を占めることから季節的変動が大きく、期末に出荷が集中するため中間期は営業損失を計上しましたが、例年通り年度合計では利益を計上できる見通しです。



セラミック膜浄水システム

要約財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表 (2007年9月30日現在)

(単位:百万円未満切捨)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	295,153	流動負債	97,105
現金及び預金	69,708	支払手形及び買掛金	31,735
受取手形及び売掛金	82,357	短期借入金	4,922
有価証券	46,452	1年以内償還予定社債	10,000
たな卸資産	79,206	未払法人税等	15,277
繰延税金資産	9,628	事業再構築引当金	1,422
その他	7,935	その他の引当金	1,710
貸倒引当金	△135	その他	32,037
固定資産	248,483	固定負債	118,481
有形固定資産	161,094	社債	-
建物及び構築物	51,016	長期借入金	72,869
機械装置及び運搬具	77,793	繰延税金負債	22,980
土地	18,800	退職給付引当金	19,722
その他	13,484	役員退職慰労引当金	190
無形固定資産	3,306	持分法適用に伴う負債	1,747
投資その他の資産	84,082	その他	970
投資有価証券	52,555	負債合計	215,586
繰延税金資産	3,406	純資産の部	
その他	28,493	株主資本	288,514
貸倒引当金	△373	資本金	69,849
資産合計	543,636	資本剰余金	85,146
		利益剰余金	149,105
		自己株式	△15,586
		評価・換算差額等	19,239
		その他有価証券評価差額金	17,368
		繰延ヘッジ損益	△338
		為替換算調整勘定	2,209
		新株予約権	458
		少数株主持分	19,837
		純資産合計	328,049
		負債・純資産合計	543,636

中間連結損益計算書 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位:百万円未満切捨)

科目	金額
売上高	173,694
売上原価	113,148
販売費及び一般管理費	25,607
営業利益	34,937
営業外収益	2,579
営業外費用	2,201
経常利益	35,315
特別利益	10,529
特別損失	214
税金等調整前中間純利益	45,630
法人税、住民税及び事業税	16,338
法人税等調整額	2,957
少数株主利益	581
中間純利益	25,752

要約財務諸表(単独)

中間単独貸借対照表 (2007年9月30日現在)

(単位:百万円未満切捨)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	189,616	流動負債	86,696
現金及び預金	27,122	買掛金	25,534
受取手形	1,412	関係会社短期借入金	20,876
売掛金	56,926	1年以内償還予定社債	10,000
有価証券	46,352	未払法人税等	12,270
たな卸資産	38,093	前受金	1,395
繰延税金資産	5,053	役員賞与引当金	63
その他	15,016	完成工事補償引当金	213
貸倒引当金	△360	受注工事損失引当金	-
		その他	16,341
固定資産	242,859	固定負債	79,221
有形固定資産	76,751	社債	-
建物	27,535	長期借入金	53,000
機械及び装置	26,893	繰延税金負債	14,419
土地	14,422	退職給付引当金	11,148
その他	7,898	その他	653
無形固定資産	1,511	負債合計	165,917
投資その他の資産	164,596	純資産の部	
投資有価証券	49,669	株主資本	249,362
関係会社株式	64,050	資本金	69,849
その他	51,157	資本剰余金	85,146
貸倒引当金	△280	資本準備金	85,135
		その他資本剰余金	10
資産合計	432,476	利益剰余金	109,917
		利益準備金	7,744
		その他利益剰余金	102,173
		自己株式	△15,550
		評価・換算差額等	16,737
		その他有価証券評価差額金	17,076
		繰延ヘッジ損益	△338
		新株予約権	458
		純資産合計	266,559
		負債・純資産合計	432,476

中間単独損益計算書 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位:百万円未満切捨)

科目	金額
売上高	109,432
売上原価	74,479
販売費及び一般管理費	14,772
営業利益	20,180
営業外収益	3,624
営業外費用	2,509
経常利益	21,296
特別利益	10,519
特別損失	146
税引前中間純利益	31,668
法人税、住民税及び事業税	12,387
法人税等調整額	749
中間純利益	18,531

役員 (2007年9月30日現在)

*は代表取締役

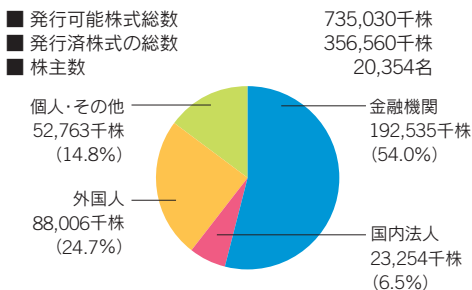
*取締役会長	柴田 昌治	取締役	藤戸 宏
*取締役社長	松下 雋	取締役	森 隆之
*取締役副社長	加藤 太郎	取締役	伊夫伎光雄
*取締役	浜本 英嗣	取締役(社外)	丹羽宇一郎
*取締役	和田 洋	取締役(社外)	小川 宏嗣
取締役	松木 晴雄	常勤監査役	瀧 満
取締役	岡本 貴之	常勤監査役	中島 啓
取締役	稲葉 常三	監査役(社外)	平井 康之
取締役	水野 文行	監査役(社外)	田中 節夫

執行役員 (2007年9月30日現在)

*は取締役を兼務

*社長	松下 雋	執行役員	坪井 徹
*副社長	加藤 太郎	執行役員	武内 幸久
*専務執行役員	浜本 英嗣	*執行役員	森 隆之
*専務執行役員	和田 洋	執行役員	鶴田 栄一
*専務執行役員	松木 晴雄	*執行役員	伊夫伎光雄
*専務執行役員	岡本 貴之	執行役員	宝池 隆史
*常務執行役員	稲葉 常三	執行役員	浜中 俊行
*常務執行役員	水野 文行	執行役員	阪井 博明
*常務執行役員	井元 義訓	執行役員	吉村 亜東司
*常務執行役員	藤戸 宏	執行役員	大島 卓
		執行役員	坂部 進

株式の状況 (2007年9月30日現在)



■ 株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)
取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.ngk.co.jp/IR/kessan)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。